

「近畿中部広域復興支援ファンド」への出資について

京都信用金庫（以下、「当金庫」という）は、新型コロナウイルス感染症等の影響により経営環境が悪化した近畿中部地区の事業者の復興及び事業再生支援等を目的とする「近畿中部広域復興支援投資事業有限責任組合」（以下、「本ファンド」という）へ参画致しました。

本ファンドは、新型コロナウイルス感染症等の影響により経営環境が悪化した事業者の復興及び事業再生等を早期に実現するため、富山県、石川県、福井県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県を対象として、同府県に本店又は主要事業拠点を有する事業者及び同12府県の地域経済の再活性化に資する事業を行う事業者等に対し、過剰債務の解消、必要資金の提供及び人的支援を行うことを主たる目的としています。

当庫は新型コロナウイルスや災害により影響を受けられた事業者の皆様に対して、本ファンドを通じて、一日でも早い事業の復興、事業の再活性化に向けて取り組んで参ります。

記

1、本ファンドの概要について

名称	近畿中部広域復興支援投資事業有限責任組合
設立時ファンド金額	3,280 百万円
設立日	2020 年 7 月 31 日
存続期間	10 年間
業務運営者	株式会社 AGS コンサルティング REVIC キャピタル株式会社

以上